

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 115

平成 30 年 6 月号

注目!

本年度のナレッジコミュニティ
シリーズ企画決定! 3p

NEW チャイナ☆沙龍(サロン)活動報告 4p

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

タイトルバック：琴性根氏（釜山発展研究院）撮影

◆URCニュース

①台北市 林欽榮(りんちんろん)副市長ご一行が URC を来訪されました!



第 16 回アジア太平洋地域 ITS フォーラムに参加するために来福した台北市林欽榮副市長ご一行 5 名が、5 月 8 日に研究所を来訪されました。2005 年に台北市政府の研究員をショートプログラムで招へいた縁で、当研究所と台北市政府関係者は 10 数年にわたって友好交流を続けております。ご一行には、台北市政府の都市計画、交通、MICE、そしてスマートシティ等各分野の担当責任者及び専門家が含まれており、当研究所の

中村副理事長と横内事務局長から業務内容に関するブリーフィングを受けたあと、研究所の財団としての独自性や運営基盤のサポート体制、研究成果の市政へのフィードバック効果等に高い関心を示され、都市景観や高齢化社会のユニバザールデザインといった分野での両都市間の更なる交流推進要望がなされました。



写真:URC 撮影(唐寅 主任研究員)

②平成30年度・第1回 都市セミナー

「住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える」の開催を予定しています。

福岡市は、現在も人口が増加している活力のある都市です。将来においても福岡市が生活の質の向上と都市の成長を維持し、活力のある都市であり続けるためには、様々な年齢や豊富な経験を持つ人材が集う都市であり続ける必要があり、現役世代の労働力は勿論のこと、女性や高齢者の労働参加率の向上も重要な要素となります。

今回のセミナーでは、福岡市の荒瀬副市長による福岡市の施策及び今後の展望について基調講演、及び URC 中村研究員による「福岡市における生産年齢人口の減少を見据えた施策展開に関する研究」の成果報告を行ないます。また、福岡を拠点として活躍されている実業家の(株)しくみデザイン代表取締役の中村俊介氏や(株)Waris 代表取締役/共同創業者の河京子さんにもご講演頂く予定です。

「福岡」が、性別や年齢に関わらず、多様な分野で個性と能力を発揮し、活躍できる都市であり続けるためにはどのようなしくみが必要なのか、考える機会になればと開催するものです。経営者や人事担当者の方は勿論のこと、働く女性、子育て中の女性、そして起業をお考えの方など、多くの皆様にご参加頂ければと存じます。

なお、本セミナーの申込み方法や詳細内容等は、6 月 25 日以降に URC のホームページや告知らし、及び市政だより（7 月 1 日号）等でお知らせする予定です。

■日時：平成 30 年 7 月 19 日(木)

13:30~16:30 (開場 13:00)

■場所：福岡アジア美術館「あじびホール」

(福岡市博多区下川端町 3-1)

(山本美香 主任研究員)

③平成29年度 市民研究員研究報告書ができました！

平成29年度5名の市民研究員は「住んで、来て、楽しい福岡の街づくり」を共通テーマに昨年の7月から約9か月間に渡り熱心に調査研究をしてきました。この度、平成29年度市民研究員研究報告書の印刷製本が完了し、弊所のホームページでも閲覧できるようになりました。各市民研究員の個別の研究テーマは以下の通りです。

- 『福岡の街がワクワクする未来型スタジアムに関する研究』 … 谷脇 良也
- 『ムスリムの人々も気軽に訪れ、ともに暮らせる街づくりにむけた研究』 … 弥栄 睦子
- 『「コンパクトな立地」にポイントを置いた「利便性」の高い街づくり』 … 三毛 陽一郎
- 『「働き方と働く場」ライフステージを想定した就業支援の研究』 … 矢野 裕樹
- 『住んで、来て、楽しい福岡「市街化調整区域」のまち

づくり』 … 山崎 敬太

市民研究員研究報告書は弊所資料室で閲覧、貸出ができます。また、弊所のホームページにも掲載していますので是非ご覧頂きたいと思えます。

平成29年度市民研究員研究報告書ホームページアドレス
<http://urc.or.jp/%e5%b9%b3%e6%88%9029%e5%b9%b4%e5%ba%a6-%e5%b8%82%e6%b0%91%e7%a0%94%e7%a9%b6%e5%93%a1-%e7%a0%94%e7%a9%b6%e5%a0%b1%e5%91%8a%e6%9b%b8>



(嶋岡和久 主任研究員)

④国際研修受入報告

2018年5月、中国から1団体、韓国から6団体、合計2か国、7団体、194名が福岡市の福祉及び水資源に関する取り組みを学ぶために来福しました。

視察は、福岡市中部水処理センター及び水素ステーション、福岡市老人福祉センター（舞鶴園、若久園、福寿園、長生園）、福岡市シルバー人材センターで行われました。各視察団は、福岡市の取組みと自国の取組みを比較しながら、今後の業務及び研究の参考とするため様々な質問をしていました。今月も多かった韓国からの視察

団は、依然として日本の高齢化社会に対する取り組みについて非常に高い興味を示していましたし、韓国の高齢化問題について真剣に取り組んでいる様子でした。来福した各都市が抱えている問題を、短期間で簡単に解決することは難しいと思いますが、今回の福岡市国際視察研修を通して、少しでも住みよい街づくりに役に立つことを期待します。

写真:URC 撮影(李英雄 国際視察研修担当)



釜山鎮区老人福祉館の福岡市シルバー人材センター訪問 中国科学院上海高等研究院の福岡市水素ステーション・福岡市中部水処理センター 訪問

⑤研究紀要『都市政策研究』の投稿論文を募集しています。

研究紀要『都市政策研究 第20号』に掲載する投稿論文を募集しています。論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめたものとし、特に、福岡市の都市政策に対する何らかの提言的な内容を含むことが望ましく、新規性または有用性のあるもので、原則として未発表のものに限ります。

投稿期限は、査読を要する論文は2018年8月31日、査読を要しない論文は2018年9月30日です。投稿資格は、原則として賛助会員、福岡市職員、及び当研究所職員ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合はこの限りではありません。

投稿要領は当研究所ホームページに掲載しています。なお、投稿を検討・希望される場合は、6月末日までにご連絡をお願いします。

また、皆様のお知り合いやお近くに論文を発表されたい方や、興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。投稿をお待ちしております。

【専用メールアドレス: toshiseisaku@urc.or.jp】

(山本美香 主任研究員)

◆URC資料室ニュース 平成30年度 第1回 ナレッジコミュニティ

「都市政策資料室からみた福岡市の30年」を開催します！

今年8月、当研究所の前身である財団法人福岡都市科学研究所が設立されてから30周年を迎えます。

そこで、今年度のナレッジコミュニティでは、福岡市のこれまでの30年の変化を様々な切り口で振り返るシリーズを、4回に分けて行うことにいたしました。

シリーズの第1回目は、都市政策資料室の司書が「都市政策資料室からみた福岡市の30年」について報告し、ゲストスピーカーにこれまでのURCを振り返ってコメントをいただきます。

その後、ご参加の皆さんに、福岡市が「地方最強都市」と言われるようになったキーポイントや、キーワードについて考えていただき、これからの福岡市の方向性について話し合ってください。

終了後は懇親会(有料)を予定していますので、お気軽

にご参加ください。

*ナレッジコミュニティのみのご参加は無料です。

【日 時】平成30年8月10日(金)

18:30~20:00(受付開始 18:15)

報告・ゲストスピーチ・グループワーク

【会 場】福岡市職員研修センター 402・403 研修室
福岡市中央区天神 1-6-8 天神ツインビル 4階

【定 員】50名 ※先着順受付

【お申し込み】Eメール(library@urc.or.jp)または
FAX(092-733-5680)で、

①氏名・②所属・③電話番号(092-733-5707)・④Eメール
アドレスをご記入のうえ、お申し込み下さい。

(メール件名:平成30年度 第1回 URC ナレッジ
コミュニティ参加希望)

*懇親会への出欠についても明記してください。

(山崎三枝 都市政策資料室 司書)

◆特別寄稿 *一人一花の楽しみ* 第4回 6月 紫陽花(あぢさゐ)

福岡市が提唱する一人一花運動、157万人の市民が一人一花を育てると福岡は157万本の花溢れるフラワーシティになる。

6月に入り、天神のスポンサー花壇は夏花壇に植替えられていた。きれいに並んだ花苗たちは、まだ生々しいがやがて馴染んで見事な花盛りを見せてくれる。天神のスポンサー花壇も一気に立て札が増え、さすがの「一人一花」効果です♪



宮崎宮紫陽花

さて、6月の一花紹介はやっぱり「紫陽花」落葉低木アジサイ科アジサイ属。万葉集にも詠われている歴史花は日本古来のガクアジサイ。装飾花(萼が花のように見える)で花は中心に小さく咲く。*ガクアジサイとホンアジサイに大別され2000種超に及ぶが、シーボルトが「オタクサ」(愛妾名)と呼び西洋に持ち帰った。品種改良後、華やかなボリュームの西洋アジサイとして逆輸入されている。



花言葉は多様で、「辛抱強い愛」「団欒」「移り気」「謙遜」「冷たい心」など花に恐縮する花言葉も…また、紫陽花ほど雨や梅雨、夜、蛍、蝸牛、寺、城、途の静観な佇まいが似合う花は無く、溢れるほどのボリュームでも周りを引き立たせ、しっとりとした風情を魅せてくれる。私の心花のひとつ。

6月は各地であじさい祭りが行われ、恒例の花イベントも目白押し賑わい。市内は植物園、舞鶴公園、箱崎宮、能古島、海の中道など、散歩の道すがら見かける雨上がりの紫陽花も格別に美しい。

FUKUOKA GROWTH NEXTの歴史樹大名榎の横では、10年前に子ども達と植えた紫陽花が今年も花を咲かせていた。

毎年、梅雨を楽しませてくれる紫陽花の育て方は苗からだと意外と簡単です。庭植え、鉢植えどちらもオススメ。土は水はけのよい土、赤玉土6:鹿沼土3:ピートモス1の割合で、成長が早いので大きめの鉢を準備します。花後はお礼肥えを施し、切り戻しをします。花色は酸性土が青色、アルカリ土はピンク系、中性は紫系が咲くので試して育てるのも一興です。殖やし方は切り戻した枝を挿し芽にすれば根付き、良く育ちます。水を好みますが乾かし目に育てる方が丈夫に育ち、花色も綺麗です。

白花ではアナベル、柏葉アジサイ(ピラミッドアジサイ)も人気種です。何せ、品種が多いのでお好みの花色、花姿を見つけて育ててみてはいかがでしょうか。

写真:福岡市提供 執筆:福岡:花まち研究会会員 きむらみえこ(環境演出家®)

◆チャイナ☆沙龍(サロン)活動報告

皆さん、こんにちは。私どもは、URC 資料室を利用して勉強会を開催しております「チャイナ☆沙龍(サロン)」と申します。

日中関係にもようやく改善の兆しが見えてきましたが、まだまだ中国に対するぼんやりとした不信感が巷にあふれているようです。しかしながら、なぜか気になる国、中国。漢王朝時代に書体が定まった“漢”の文字たる「漢字」を使用する日本人は、日本の歴史を漢字で記し始めた時から既に中国文化の影響を受けています。特に、江戸時代の鎖国まで日本における中国との貿易拠点

として栄えた博多にとっては、お付き合いが 2,000 年から続いている国であり、とても「好き」「嫌い」で片づけられる薄っぺらな関係ではないのです。

この勉強会は、こうした博多と中国との深い歴史的なつながりをベースに、今を生きる我々が現在の中国をどう考え、未来に向けて何をしていくべきなのか、という大きなテーマを、日中双方向から、軽快に、楽しく、のんびりと語り合うサロンです。

直近では、5 月 25 日に開催し、福岡に在住している中国人 4 人や台湾留学経験を持つ日本人を中心に、現在の中国事情についてのお話をじっくり聞かせていただきました。月に 1 回 19 時～21 時の時間に URC の資料室で不定期に活動しています。また、キチッとした形を作って進めるのではなく、その時々で集まったメンバーで楽しめるような会にしたいと思っています。興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。お問い合わせは、URC 資料室までよろしくお願ひします。

写真提供・執筆：チャイナ☆沙龍(サロン)主宰 奥田聖氏

URC メディア紹介情報—最近 1 か月の情報を中心に—

◎新聞

(2018/5/31 新潟日報 朝刊 31p)

中心市街地の可能性探る 11 日新潟でシンポ
URC・FDC OB 後藤太一さんが基調講演を行うイベントの開催予告

(2018/5/24 毎日新聞 22p)

かえっこバザール: 要らないおもちゃ交換 査定は小学生が担当、ポイントに 来月 3 日、舞鶴で/京都
市民研究員 OB 藤浩志さんが提唱したシステムが全国で導入

(2018/5/22 朝日新聞 朝刊 23p)

廃校、地域拠点によみがえれ 宮崎の経営者ら「九州サミット」発足/宮崎県
FDC 石丸修平事務局長が発起人の一人として講演(@印=以下同じ)

(2018/5/18 西日本新聞 朝刊 23p)

健康づくりサービス 実証実験事業者募る 福岡市と FDC
FDC が福岡市と「福岡ヘルス・ラボ」に関し、実証実験事業者を募集

(2018/5/18 秋田魁新報 朝刊 25p)

「面白い合宿」企画求む！秋田公立美大、全国の高校生対象に 県内で研究、50万円まで補助
市民研究員 OB 藤浩志さんが副学長として審査

(2018/5/17 朝日新聞 朝刊 19p)

秋田の魅力、みんなで掘り起こせ 付箋で情報追加 31日まで/秋田県 /市民研究員 OB 藤浩志さんがパネリストとして参加した公開討論会の開催報告

(2018/5/13 西日本新聞 朝刊 7p)

オピニオン opinion 学生と地域 未来の担い手育成が重要
URC OG 山下永子さんが執筆

(2018/5/13 西日本新聞 朝刊 20p)

「くるめぐらし会議」発足 魅力発掘 空き物件活用へ/筑後
市民研究員 OB 吉原勝己さんがご自身の会社「スペース R デザイン」で取り組むプロジェクトを紹介し、コメント

(2018/5/11 朝日新聞 夕刊 7p)

廃校よみがえれ ビジネスに活用、「地元創生」めざす 起業家が「九州サミット」発足 @

(2018/5/11 琉球新報 朝刊 12p)

廃校舎利用し地域を元気に九州で「サミット」設立 @

◎雑誌

(2018/6 月刊同友 vol. 623)

4p 中小企業が変われば社会は変わる～これからの時代を創るソーシャルビジネス～ソーシャルビジネス委員会紹介
市民研究員 OB 吉原勝己さんがまちづくりビジネス本部長として紹介される。

6p 平成 29 年度 第 3 回ナレッジコミュニティで講師を務められた吉浦隆紀さんが新副委員長として紹介される。

◎テレビ

(2018/5/20 RKB 朝ニュース)

URC OB 柳憲憲さんが主宰するショート動画コンテストが紹介される。

◎ラジオ

(2018/6/12 KBC ラジオ 24:30～25:00 Buzz!!LinQ)

中島賢一調整係長が e スポーツについて語ります。(予告)

(2018/5 毎週金曜日 18:00～18:25 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん) スポガで Ready Bowl!!)

市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。